



魅力ある学校づくり協議会

(志村小) ニュース

第4号

発行日：令和2年4月14日 発行：板橋区教育委員会事務局

教育委員会では、老朽化した学校施設の整備計画と学校規模・配置の適正化という2つの課題を解決していくため、平成26年2月に「いたばし魅力ある学校づくりプラン」を策定しました。

このプランに基づき、改築期を迎えた「志村小」の協議会を設置し、子どもたちの教育環境を充実させていくための協議を行っています。

第4回協議会を開催しましたので、協議会の概要についてお知らせします。

【第4回 協議会 開催内容】

第4回協議会では、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策として、健康確認シートの活用や手指の消毒などを実施しました。

開催日時：令和2年3月12日 18:30~19:30

場所：志村小学校 2階 ランチルーム

- 内容：・ 前回協議会の振り返りについて
- ・ 前回協議会で挙げられた意見について

今回は、志村四中の関係者の方にも出席していただき、協議しました。詳しくは、区ホームページに議事録を掲載していますので、ご覧ください。

◆小中一貫教育校の検討がスタート??

志村小を現在の場所に残すことはできないか、改めて議論したいです。



委員



委員

現在の場所で改築工事を行った場合、工事期間が6年かかると聞きました。どうして6年もかかるのでしょうか。

～事務局から図面を用いて説明しました～

この方法だと6年どころか、もっとかかる印象を受けます。



委員

工事期間が6年かかるだけでなく、子どもたちの安全面にも課題がありますね。



委員

代替りの場所に仮設校舎を建てるのも難しいと聞いています。



委員

前回の協議会で、志村四中との小中一貫教育校が選択肢に挙がりました。今回、志村四中の関係者にも出席していただいているので、意見を聞いてみましょう。



委員

裏面に続きます

◆志村四中の関係者の方にも意見を聞きました

小中一貫教育校の形で、みんなで知恵を出し合い、課題を解決しながら、推進していくのが良いと思う。板橋区では、令和2年度から小中一貫教育が本格実施すると聞いているので、志村四中が新しく変わっていくのを見てみたい。

志村小が現在の場所に無くなるのは寂しいとの意見があったが、他の学校では、閉校後、ボランティアセンターなど他の用途で活用されているところもある。何らかの形で校舎が残っていれば、卒業生もまた来ることができるので、子どもたちや地域の印象も変わってくると思う。

志村四中を卒業している。志村四中は校舎の形が特徴的で、卒業生としては校舎の形に対する愛着がある。しかし、30数年振りに校舎を見て、校舎が老朽化していると感じたので、新しくなるのも良いと思う。

志村四中の校庭に仮設校舎を設置した場合、校庭利用が制限されるが、体育や部活動については工夫することで活動を継続することができる。例えば、2年前に校庭を全面改修した時は、近隣の小学校の校庭を利用した。複数の部活動では、効率よく活動することで、都大会に出場するなど結果も出ている。

小中一貫教育について詳しく知りたい方はホームページをご覧ください。

※右のキーワードで検索してみてください。

板橋区 小中一貫教育

検索

<https://www.city.itabashi.tokyo.jp/kyoikuiinkai/houshin/ittukan/1012614.html>

志村小の施設整備の方法について、一定の方向性が決まりました。次回協議会では、志村小と志村四中との小中一貫教育校について、課題を整理しながら、志村四中の関係者の方も協議会委員に加えて協議を進めていきます。

次回協議会予定

開催日時：令和2年7月3日 18:30～

場所：志村第四中学校 3階 ランチルーム

内容：今後の方向性の確認・今後の進め方について

発行元 板橋区教育委員会事務局

新しい学校づくり課

学校配置調整第1グループ

TEL 3579-2624

FAX 3579-4214

※協議会は原則傍聴できます。受付にて手続きをしてください。

※魅力ある学校づくり協議会（志村小）の会則・議事録・協議会ニュース等は、区ホームページからご覧いただけます。

右のキーワードで検索してみてください。

志村小 協議会

検索

<https://www.city.itabashi.tokyo.jp/kyoikuiinkai/houshin/plan/1014924.html>